

「奥州街道・羽州街道追分」復元により、さらに地域づくり活動が活性化

県北-6

羽州・奥州街道地区

桑折町、国見町

県北建設事務所
計画期間：H16～H25

地域づくりの方針

- ・桑折地区
歴史的な地域資源等を活用し、**歩いて楽しめる地域づくり**の推進
- ・小坂地区
羽州街道沿線地域資源を活用し、**魅力ある地域づくり**の推進

主な事業内容

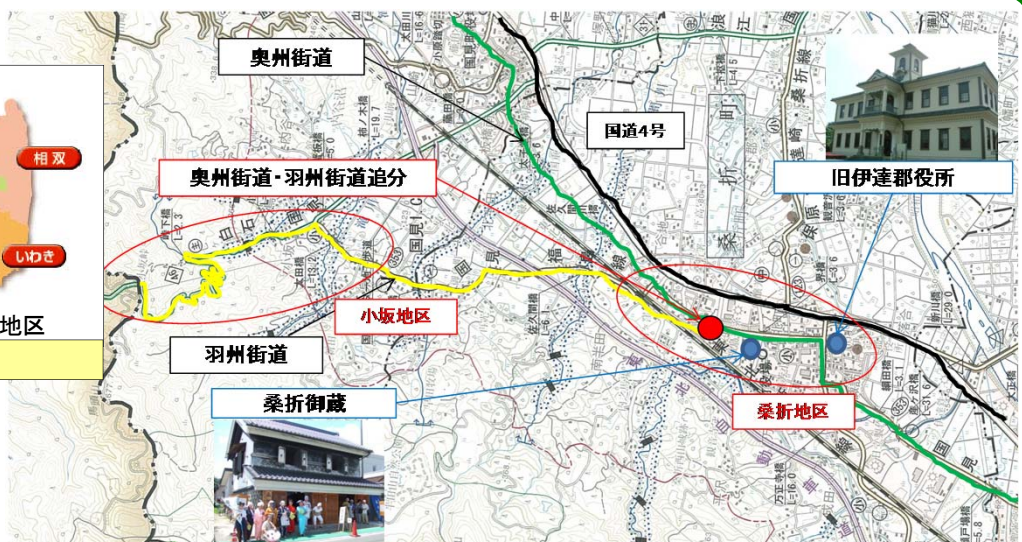
街道をとおした交流や中心市街地の活性化を図るため、

“奥州街道・羽州街道追分”を

交流広場として江戸時代のまま、忠実に復元
国指定重要文化財・旧伊達郡役所前の電線地中化により景観を向上
ホテルの名所産ヶ沢川で親水広場を整備



事業概要図



地域の現状

桑折町・国見町の両町は、伊達家に関する多くの歴史的資源、半田山などの美しい景観や小坂峠から見た信達平野の風景などの自然資源を数多く有しています。
このため、両町の宝、誇りとして町民が抱いている歴史的資源や自然環境をはじめとする町特有の資源・素材を今後も町民が誇りに思うように認識を持ち続ける環境づくりの形成や新たな魅力を創造して町民が魅力を感じられる地域づくりの必要があります。

地域づくりのあゆみ

平成16年	<ul style="list-style-type: none">桑折地区：奥州・羽州街道まちづくり懇談会設立。 地域資源調査、ワークショップ開催。小坂地区：地域資源調査。
平成17年	<ul style="list-style-type: none">桑折地区：懇談会開催、桑折宿・羽州街道マップ作成。小坂地区：小坂宿・小坂峠マップ作成。
平成18年	<ul style="list-style-type: none">桑折地区 奥州街道・羽州街道追分整備。 桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会設立。 食の発見（山形県高畠町へ視察）。 のれん設置（県地域づくり総合支援事業）。小坂地区 小坂宿探訪会の開催。こさかまちづくりの会設立。
平成19年	<ul style="list-style-type: none">桑折地区：桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会を3部会（桑折学・賑わい創出・町並み）に分け検討、街道を活かしたまちづくりフォーラム開催。 “奥州街道・羽州街道追分”が国土交通省の手づくり郷土賞受賞。 桑折御蔵オープン（県商店街活性化事業）。小坂地区 小坂峠産坂階段設置（県地域づくり総合支援事業）。
平成20年	<ul style="list-style-type: none">桑折地区 内閣府「地方の元気再生事業」選定。 三元車復活プロジェクト桑折サイクルフェスティバル開催（県地域づくり総合支援事業）国土交通省「まちナビ」選定、羽州街道サミット開催。小坂地区 こさかまちづくりの会による現地調査実施。
平成21年	<ul style="list-style-type: none">奥州街道車道幅減少社会実験、冊子桑折学作成
平成22年	<ul style="list-style-type: none">案内サイン整備、小坂峠景観型ガードパイプ設置
平成23年	<ul style="list-style-type: none">案内サイン整備
平成24年	<ul style="list-style-type: none">電線共同溝整備、産ヶ沢川親水広場整備
平成25年	<ul style="list-style-type: none">電線地中化溝整備

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

（地元住民）

■懇談会を組織する上で、会員の人選を既存団体の長を選ぶというのが一般的な手法ですが、会を重ねるたびに参加人数が減ってくるようになります。そうならないために、会の中心になる人をなるべく一般町民から選ぶようにし、会の代表に女性の畠腹さん（写真）になっていただいたことによって会が大きく変化しました。



代表 畠腹桂子さん

（県担当者）

■人との関わりが地域づくりにおいては大事であり、はじめは誰と話を進めれば良いか分からないまま仕事を進めなければならぬ非常に苦労しました。3年目で人との関わりがようやく出来てきたところですが、3年程度で異動になる現状にあっては、地元住民との関わりをどのように次の担当者に引き継ぐのかが地域づくりを進める上での課題だと思えます。

■地域づくりには、財源をいかに確保するかは大きな課題だと思えます。地元が自ら財源を確保できれば理想ですが、実際は困難であるため、行政が各種助成制度の情報提供（場合によっては申請書作成の手伝い）を行うなど、地元負担が極力少なくなるような支援をできれば良いと思えます。

元気づくりの立役者たち

地域の人



旧伊達郡役所



三元車



ハートレーク(半田沼)



事業の効果

■桑折御蔵オープン

桑折町の商工会在が、使われていなかった明治時代の蔵を“桑折御蔵”としてリニューアルし、町の女性団体連絡協議会を中心にアンテナショップとして運営され、いつももてなしの心で迎えてくれます。

桑折御蔵



■懇談会により実現した地元主体の地域づくり活動

桑折宿軽トラ市



毎月第4日曜日に開催
地元で採れた新鮮な野菜を販売

雛めぐり



H21.2.17～3.3の15日間で桑折御蔵に約1,700人が来訪しました

広域交流連携



■広域交流連携

- ・ホテルを活用したまちづくりをすすめるため、宮城県七ヶ宿、山形県高畠町と連携。
- ・震災後、両町と災害時相互応援協定を締結。

町（都市再生整備計画事業）と連携し、旧伊達郡役所前の景観整備（H25完了）

実施した感想

（県担当者）

■奥州街道・羽州街道追分（分岐点）復元が大きな効果を発揮。その地域の歴史や文化に根ざした整備はもとより、地元求められる施設整備が重要であると感じました。

（地区住民）

■内閣府の地域の元気再生事業に採択されまして現在進行していますが、これも今までの元気ふくしま事業があったからこそ採択になったものと思います。

地域の課題・今後の展望

○桑折地区

“奥州街道・羽州街道追分”の復元、“桑折御蔵”のオープン等、地域づくり活動が着実に進められてきていますが、さらなる魅力向上を図り、商工会等と連携しながら、「歩いて楽しめる賑わいのある」地域づくりに取り組んでいきます。

○小坂地区

桑折町、宮城県七ヶ宿町、山形県高畠町等と羽州街道をとおした交流連携を行っていきます。

整備内容及び利用状況

奥州街道・羽州街道追分の復元(桑折地区)



施工前



施工後

追分を含む羽州街道をとおした地域づくり活動が評価され、「手づくり郷土賞」を受賞しました。

利用状況

(利用者の声)

奥州街道・羽州街道追分“備え付けノート”より

- 街道筋のパンフレットが思いがけず手に入りとてもうれしいです。
- 歴史を残すことは大切なことだと思います。これからも維持していただ下さい。応援しております。
- 座る場所があって、いい場所です。

管理状況

平成18年12月4日に県と桑折町とで維持管理に関する基本協定を締結し、日常の維持管理は、地元住民によって行われています。



産ヶ沢川親水広場

沿道景観整備(小坂地区)



施工前



施工後

沿道景観を阻害するものを改善し、歩いて走っても楽しめる道路空間としました。

関係機関

- 福島県県北建設事務所 企画調査課
- 桑折町 地域整備課
- 桑折地区歩いて楽しめる地域づくり懇談会(事務局桑折町地域整備課)

TEL : 024-522-2115

TEL : 024-582-2127